

英語 「使えるから楽しい！」 学習内容の活用で



POINT I 態度

学習内容の活用場面を設定して、学ぶ喜びと意欲を引き出す

小学校高学年の外国語（英語）の学習では、「慣れ親しむ」段階を超えて「自分の思いや考えを英語で伝える力」を育むことが求められている。特に6学年は中学校への接続期に当たり、学習への意欲を高めることが今後の学びの土台となると考える。しかし、全ての子どもが自然に英語を使おうとするわけではないだろう。だからこそ「英語を使ってみたい」と感じるような授業の工夫が不可欠であろう。

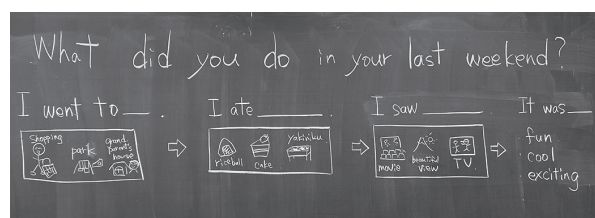
1 必要感や興味が湧く課題や活動を設定する

子どもが関心をもてるテーマや日常生活と結び付いた内容を取り上げることで「英語で伝えたい」という意欲を引き出すことができるだろう。小さな成功体験を積み重ねることで「伝える力」への自信を育んでいくことが大切だと考える。また、自分の伝えたいことが見付けられない子どもへの配慮として、選択肢をあらかじめ用意しておくことやテーマを1つに絞らず複数の選択肢を用意するなど、子どもの実態に応じて柔軟に対応できる工夫も重要であろう。

2 帯活動として会話の場面を設定する

毎時間の授業冒頭に簡単な会話を取り入れることで英語を使うことが日常化する。既習事項の定着を図りながら、英語で表現する土台が育つだろう。ただ会話を行うのではなく、そこにクラス内で交流する活動やゲーム的な要素を取り入れることで意欲を高めることが期待できる。

例えば、週末にしたことや食べたものなどを紹介し、じゃんけんで勝つと次のトピックに進むことができるというゲームがある。内容を単元に合わせてアレンジすることで、スピーチ練習の一環としても活用できるだろう。



【すごろくじゃんけんゲーム】

また他の例として、友達のことを英語で知る・伝えることで関心が高まり、英語を交流の手段として使う経験ができ、学習意欲を向上させることも考えられる。ゲーム後に「どんな答えが多かった？」などを英語で共有させると振り返りにもつなげることができるだろう。

Small Talk Bingo

めざせビンゴ！おたがいに質問して、答えが聞けたらマスに名前を書こう！

What's your favorite food?	Do you have a pet?	Can you swim?	What sport do you like?
What subject do you like?	Do you play video games?	What's your hobby?	Can you play the piano?
What's your favorite color?	Do you like sushi?	What animal do you like?	What's your dream?
Can you ride a bike?	Do you like math?	What's your favorite drink?	What time do you get up?

【スモールトークビンゴ】

これらを行う際は、「多少分らない英語が混ざっていても大丈夫」「単語が分らないときは日本語を使っても OK」など、取組に安心して向き合えるようにすることも大切にしていきたい。

意欲を高める授業づくり

芽室町立芽室小学校 教諭 山河 愛



小学校4学年

小学校6学年

中学校2学年

POINT 2 思・判・表

活動のプロセスを大切にした授業作りで、考える力を育む

英語を「知識として習得」するのではなく、「自分の考えを伝えるための手段」として使うことにより、子どもの思考力、判断力、表現力等を育てていくことが期待される。そうした目的意識の転換が、子どもの学びをより主体的で意味のあるものにしていくだろう。

1 考える余白のある活動を設定する

発表の際に「何を伝えるか」「なぜそれを選ぶのか」「どのような順で伝えればわかりやすいか」について、子どもが考えて準備する活動を設定する。また、教師があえて不十分な例を示して考えさせたり、活動後にルーブリックを活用して自己評価を促したりすることも効果的だろう。

(1) 夢の学校を英語でデザインしよう！

理想の学校の授業や施設をグループで考え、英語で発表する。どんな学校が楽しいか意見を出し合って話し合い、視覚資料を使って伝える。

My dream school has a music room on the roof.
We study math with games.

(2) 未来の自分紹介

将来の夢について、理由や仕事の内容を英語で発表する。自分の興味や価値観を言語化して、自身の夢を魅力的に伝える。

I want to be a baker.
Because I like bread and cooking.
Bakers make people happy.

2 他教科等と関連付けて学びを広げる

外国語の学習では他教科等の学びと関連付けることで、言語活動がより実感のあるものとなり、教科等横断的な視点も育てることができだろう。外国語（英語）をツールとして柔軟に活用していくことで、思考力、判断力、表現力等の育成を図ることが期待できる。

国語「自己紹介文、話し方の工夫を考える」
算数「図形の描き方を英語で話してみよう」
社会「私の町の素敵なところを紹介しよう」
理科「天気を英語で説明しよう（外国人向け天気予報動画を作る）」
音楽「曲の紹介文や歌詞を英語で表そう」
図工「自分の作品を英語で紹介しよう」
総合的な学習「未来の自分を英語で語ろう」

【他教科等との関連ができそうな例】

3 安心して自分の考えを伝えられる環境作り

英語を学ぶ上で大切なことは「間違っても大丈夫」「挑戦してみよう」と思える環境である。友だちの発言を受け止め、反応を返し合う関係作りも、表現力を高める要素となる。また教師自身も積極的に英語を使い、間違いを恐れずに表現する姿を見せることで、子どもたちにとって英語で表現することが自然なこととして受け入れられていくだろう。

こうした工夫を通じて、子どもたちが安心して思考力、判断力、表現力等を高められる環境を整えることが、何よりも大切であろう。